

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-333787

(P2004-333787A)

(43) 公開日 平成16年11月25日(2004.11.25)

(51) Int.Cl.⁷

F 1

テーマコード (参考)

G09F 21/04

G09F 21/04

E

5C080

G09G 3/00

G09F 21/04

G

G09G 3/20

G09G 3/00

C

G09G 3/20

660P

審査請求 有 請求項の数 4 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2003-128687 (P2003-128687)

(22) 出願日 平成15年5月7日 (2003.5.7)

(特許庁注：以下のものは登録商標)
ポケットベル

(71) 出願人 503166230

三吉 伊助

広島県深安郡神辺町川北238-1

(74) 代理人 100065721

弁理士 倅熊 弘稔

(72) 発明者 三吉 伊助

広島県深安郡神辺町川北238-1

Fターム(参考) 5C080 BB05 DD13 DD14 DD17 DD21

EE01 EE26 GG02 JJ01 JJ06

KK33 KK34 KK36 KK38

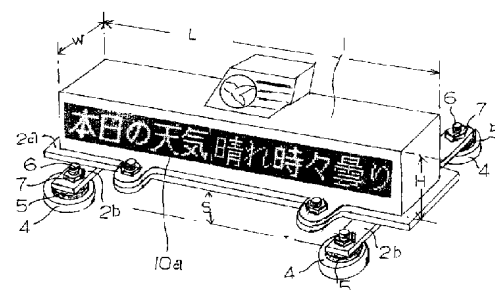
(54) 【発明の名称】 タクシーの広告表示器

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】屋根上面へ簡便且つ安全な脱着自在を可能な
しめ、宣伝広告と情報提供を行わしめるタクシーの広告
表示器。

【解決手段】横長に形成した長方形箱体を支持する支持
基台を、支持基板2aと取付け基板2bで構成し、取付
け基板は支持基板の左右各側端付近箇所に対し、これと
直交状態に設けると共に各取付け基板の前端と後端の下
面側には一定肉厚寸法の磁石3を取付けたものとなし、
タクシーの屋根上面を上方に向かって一定の間隙下で車
巾間を跨ぐ状態で脱着自在に止着させる。而して、長方
形箱体の前面側内部には電光掲示板10を内蔵させたも
のとなし、「迎車」「空車」「脅迫されています。助け
てください」等の防犯掲示、その他の簡単な宣伝、広告
などが表示される。

【選択図】 図2



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

横長に形成した長方形箱体を支持する支持基台を、支持基板と取付け基板で構成し、取付け基板は支持基板の左右各側端付近箇所に対し、これと直交状態に設けると共に各取付け基板の前端と後端の下面側には一定肉厚寸法の磁石を取付けたものとなし、タクシーの屋根上面を上方に向かって一定の間隙下で巾中間を跨ぐ状態で脱着自在に止着させたことを特徴とするタクシー広告の表示器。

【請求項 2】

長方形箱体の前面側内部へ電光掲示板を内蔵させ、「迎車」「空車」「脅迫されています。助けてください」等の防犯掲示、その他の簡単な宣伝、広告などを表示させるものとしたことを特徴とする請求項 1 記載に於けるタクシーの広告表示器。

10

【請求項 3】

取付け基板の下面に取付ける磁石は、内径を凡そ 2 c m ～ 3 c m、外径を凡そ 6 c m ～ 8 c m、肉厚寸法を凡そ 1 c m ～ 2 c m の中空リング体となし、長方形箱体をタクシーの屋根上面で高さ方向へ 1 . 5 c m ～ 3 c m の隙間が形成されるように支持されるものとしたことを特徴とする請求項 1 又は 2 記載に於けるタクシーの広告表示器。

【請求項 4】

取付け基板下面と磁石との間に肉厚を凡そ 2 m m ～ 3 m m 程度となしたゴムパッキンを介在させたものとなしてあることを特徴とする請求項 1 , 2 又は 3 記載に於けるタクシーの広告表示器。

20

【発明の詳細な説明】**【0001】****【発明の属する技術分野】**

本発明はタクシーの屋根上面へ取付けて使用する広告表示器に関する。

【0002】**【従来の技術】**

タクシーの屋根上面には専ら会社や個人を区別する広告ボックスが取付けられている。而して、従来の上記ボックスは屋根上面に対し、ボルトナットや接着剤などの使用で密着状態に取付けられるものとなしてある。

【0003】

30

【特許文献 1】

特開 2 0 0 1 - 8 0 4 1 3

【0004】**【発明が解決しようとする課題】**

上記の広告表示器はタクシーの屋根上面へボルトナットや接着剤などにより密着状態に取付けるのであり、前者では屋根面に対する別途加工が必要であり、且つその取外しには時間を要する。後者は取付けが容易であるが、取外し不可能であったり、且つ不測に脱落する問題がある。加えて屋根上面には高速走行中、可成りの風圧がかかることから、器具の破損を含む保守点検問題や経費加算の問題がある。

【0005】

40

【課題を解決するための手段】

本発明は上記問題点を解決した広告表示器を提供せんとするものであり、それに加えて屋根上の該表示器を単に会社や個人別の会社名表示にとどまらず、「迎車」「空車」「実車」は勿論のこと、「脅迫されています。助けてください」などの防犯掲示、その他簡単な宣伝、広告などの文字表示を可能ならしめるのであり、その具体的構成は横長に形成した長方形箱体を支持する支持基台を、支持基板と取付け基板で構成し、取付け基板は支持基板の左右各側端付近箇所に対し、これと直交状態に設けると共に各取付け基板の前端と後端の下面側には一定肉厚寸法の磁石を取付けたものとなし、タクシーの屋根上面を上方に向かって一定の間隙下で巾中間を跨ぐ状態で脱着自在に止着させる。

このさい、支持板下面に取付ける磁石は、内径を凡そ 2 c m ～ 3 c m、外径を凡そ 6 c m

50

～8 cm、肉厚寸法を凡そ1 cm～2 cmの中空リング体となし、長方形箱体をタクシーの屋上面で高さ方向へ1.5 cm～3 cmの隙間が形成されるように支持されたものとなすのであり、且つ長方形箱体はその前面側内部に対し電光掲示板を内蔵させて、「迎車」「空車」「脅迫されています。助けてください」等の防犯掲示、その他の簡単な宣伝、広告などを表示させるものとなすのである。

【0006】

【発明の実施の形態】

図1は本発明器具を取付けたタクシーの正面図、図2は広告表示器の全体斜視図、図3はそのカバーを取除いた状態の部分斜視図、図4は図3のX-X線切断部分拡大図である。上記に於ける本発明に係るタクシーの広告表示器1は、高さ寸法Hが凡そ10 cm～20 cm、奥行きWが凡そ15 cm～30 cm、横巾寸法Lが凡そ50 cm～120 cmの大きさとなされるのであり、上記寸法は従来寸法のものより2割～5割増しとなされる。これは本発明の広告表示器が単に会社名や個人名を表示するだけでなく、将又「迎車」「空車」「実車」などの固定文字だけでなく、「脅迫されています。助けてください」「台風警報発令中」の如く、危険や警戒情報などの特殊情報や短い文章（凡そ15文字程度のもの）を電光表示可能にするためである。

10

【0007】

次に本発明では上記広告表示器をタクシー屋根に取付ける取付台2の構成に特徴がある。即ちその取付台2は箱体の支持基板2aと、該支持基板下面を直交する前後方向で支持してなる取付け基板2bとから構成するのであり、且つ取付け基板2bの前後端縁箇所には一定大きさと肉厚寸法の磁石3が取付けてある。

20

ここに、磁石3は内径を凡そ2 cm～3 cm程度、外径を凡そ6 cm～8 cm程度、肉厚寸法は凡そ1 cm～2 cm程度となした中空のリング体である。4はその外周面を被覆する椀状の金属ケース、5は該金属ケース4と取付け基板2b下面との間に介在させてなるゴムパッキン、6及び7はこれらを一体的に取付けるためのボルト及びナットである。上記で取付け基板2bと支持基板2aとは溶接により一体化させても良いが、別途にボルト及びナットの使用で脱着自在の構成となすことができる。

【0008】

上記図示例では支持基板2aの左右両端箇所へ取付けた状態のものを示したが、支持基板2aの長さの長いものでは中央箇所にも同様構成のものを取付けるようにしても良い。而して、上記本発明の取付台2は磁石3の磁性力によりタクシー屋根m上面に対し、その車中を跨ぐ状態に取付けられるのであり、そのさい屋根上面と支持板2aとの間には凡そ1.5 cm～3 cm程度の隙間sが形成されるようになされる。このことは後述する走行中に於ける該表示器の直接的受ける風圧が、該隙間sを介して下面側から逃すことのできることから、空気抵抗の低減化が図れるものとなるのである。

30

【0009】

9は箱体の支持板2aへの取付け用ボルト孔、10は支持板2a上へセットした電光掲示板であり、該電光掲示板は図示しない配線により運転手席に設置する操作盤の操作で表示画面10a上に適宜必要なメッセージの表示が行われるようになさしめるのである。メッセージは会社名、個人名や、「空車」「迎車」「実車」などの予め定められたパターンのもをパソコンに登録しておき、これをリターンキー操作で適宜行わしめる外に随時パソコン操作でリアルタイムな情報の提供表示も可能にするのである。即ち、該表示には「只今、大雨警報発令中」「明日の天気、午前中雨午後は曇り」などの一般的な情報提供の外に、催物の広告宣伝、その他「脅迫されています。助けてください」などの危険情報など多種である。上記に於ける電光掲示板の文字サイズは凡そ60 mm～100 mm程度のものとなされるのである。

40

【0010】

取付け基板2bに於いて下面側の磁石3との間に介在させたゴムパッキン5は少なくとも2 mm～3 mm程度の肉厚を備えたものとなすのであって、これはゴムパッキン5の肉厚による弾性で支持板2a及び該支持板2a上の箱体1が、タクシー屋根m面の曲面などに

50

関係なく、円滑な密着した止着状態が得られるようにする上で著効がある。

なお、本発明では取付け支持板 2 b がタクシー屋根面と密着状態に止着されるものとならない点で従来装置と異なるのであり、即ち少なくとも 2 c m ～ 3 c m 程度の隙間 s (5 c m 程度でも差支えない) が形成されていることにより、該広告表示器に対する走行中の風圧抵抗が激減されるものとなる。本発明者らの実験結果によれば高速道路に於ける制限一杯の走行で、その止着状態には何ら影響がなく微動だにするものとならなかった。

【 0 0 1 1 】

【発明の効果】

本発明は以上の通り構成するものであって、即ちタクシーの屋根上面に対し、単にタクシーの所属会社名や個人名を表示するだけでなく、特定な大きさの広告表示器を取付けるものとなすのであり、該広告表示器は電光掲示板を内蔵させて特定の文字情報や広告宣伝情報或いは危険や警戒情報などの表示も行えるようにして、手短かに且つ即刻な情報伝達が図られるようになすのである。

10

而して、本発明の広告表示器はタクシーの屋根面に於ける外部から見え易い位置へ簡便に止着させることのできるものであり、このさい屋根板面に対し取付け用の加工作業を何ら必要としたりすることがないので、屋根板を傷付いたり又その取付け取外しなどに時間や手間の余り掛からないものとなるのである。なお、N T T のポケットベルの電波で送られてくるニュースなどの情報をキャッチして表示することも可能となり、動く広告媒体としてのリアルな情報提供のサービルの役も奏せしめるものである。

20

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明器具を取付けたタクシーの正面図である。

【図 2】広告表示器の全体斜視図である。

【図 3】カバーを取除いた状態の部分斜視図である。

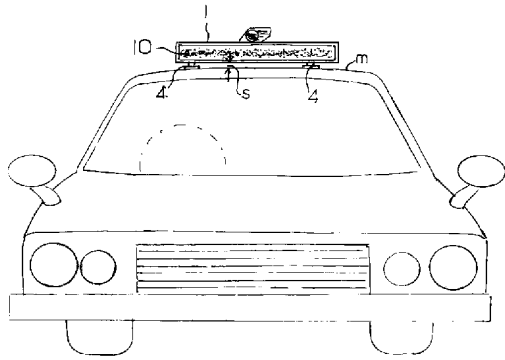
【図 4】図 3 の X - X 線切断部分拡大図である。

【符号の説明】

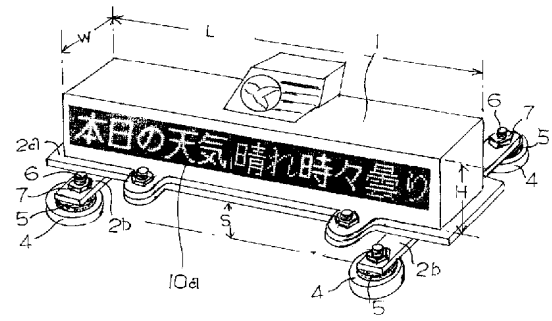
- 1 広告表示器
- 2 取付台
- 3 磁石
- 4 金属ケース
- 5 磁石
- 6 ボルト
- 7 ナット
- 1 0 電光掲示板

30

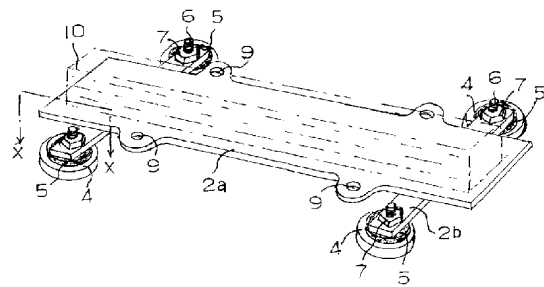
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【図 4】

